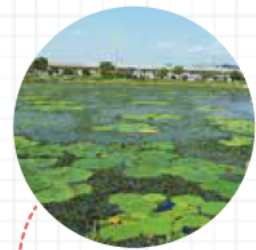


次世代へつなぐ 明石の豊かな生態系



「生物多様性って？」

それぞれの地域の生態系の中で、多様な生き物が、つながりあいながら生息・生育していること。市内にはため池や海岸、里山林など豊かな自然が残されており、さまざまな生き物が生息する場となっています。



ため池



海岸



里山林

明石には約100か所も！

ため池で 明石の生物多様性を見てみよう



コウノトリも生活できる
明石の豊かなため池

魚やカエル、
昆虫などを
餌とします

コウノトリ

トノサマガエル

ギンブナ

オオタニシ

ハッチョウトンボ

イヌタヌキモ

ヒシ

ガガブタ

多様な生き物の
宝庫なんだね！



point



コウノトリが餌を食べることが
できる環境は、その場所に
豊かな自然があるということ
を示しています。

ため池と海がつながる

かいぼり



陸の豊かさを海に届け、
海の生態系を守ります。

・明石で見ることができる貴重な生き物・

オオタカ



森林や人里近くの
林に暮らす、カラ
スと同じくらの
大きさのタカの仲
間です。

ヨシゴイ



夏を日本で過ごす
渡り鳥。水田など
で子育てをしま
す。

デンジソウ



四つ葉のクロー
パーに似た形で
「田」の字のよう
に見えます。

オニバス



直径2cm以上の葉
をつける水草。全
国で100か所程
度しか生育が確認
されていない希少
な植物です。

明石ではどのような生き物が減っているの？



明石市の大切にしたい生きもの
～明石市レッドリスト～

このままでは市内で見ることができな
くなる生き物をリストにしています。これまで
市内で見つかった生き物の11%にあたる
277種が選ばれています。



レッドリストは
こちらから

生物多様性がピンチ



知って、見て、遊ぼう！ 環境フェア 2025春

日時 3月15日(土) 午前11時30分～午後3時30分

場所 イオン明石ショッピングセンター 2番街シーパーク

申し込み 不要、直接会場へ

無料

環境学習パネル展 3月1日(土)～16日(日)



市内の小・養護学校29校の3年生たちが一年を通して取り組んだ、
環境体験活動の成果をそれぞれパネルにまとめて展示します。
子どもたちの取り組みの成果をご覧ください。

場所/イオン明石ショッピングセンター 2番街2階通路

主催/エコウイングあかし お問い合わせ/環境創造課 (TEL 918-5786 FAX 918-5192)

楽しく学ぶ

- ・明石の海 釣り堀体験
- ・海の生き物遊び
- ・おうち発電
- ・リサイコロ

ペットボトルのリサイクルを
すぐろくで楽しく学ぼう！

リサイクル

- ・ハブラシリサイクル
使用済みハブラシを持参した人に新品ハ
ブラシをプレゼント。先着240人(1家族1本)
- ➡ 回収したハブラシはリサイクルされ、
新たな製品に生まれ変わります。
- ・リサイクル図書無料配布コーナー
(1人5冊まで)

市には、美しい海岸やため池、田んぼなど豊かな自然が残されており、そこでは多くの生き物が生息・生育しています。
今号では豊かな生態系を支えるため池を通して、明石の生物多様性について考えます。
お問い合わせ/環境創造課 (TEL 918-5786 FAX 918-5192)

生物多様性を守るために大切なのが… ネイチャーポジティブ (自然再興)

ネイチャーポジティブ(自然再興)って？

自然や生物多様性の損失に歯止めをかけ、
環境にとってポジティブ(プラス)の状態にしてい
くという意味です。今の地球は過去1000万年間の平均と
比べて10倍～100倍もの速度で生物が絶滅してい
くなど、ネガティブ(マイナス)の状態にあります。

2022年の国連の会議(COP15)で
世界目標が示されました



ネイチャーポジティブ実現のためにできること

▶ 絶滅危惧種を守る研究に取り組んでいます

明石北高校 科学探究部 生物班



ネビキグサ
(アンペライ)

ため池などに生育する絶滅危惧
種植物「ネビキグサ(アンペライ)」
の研究を行っています。小学校の
子どもたちに向けて、ため池自然
環境学習も行っています。

7月の全国総合文化祭で
研究内容を発表します



在来の生態系に悪影響を与える

▶ 特定外来生物から明石を守る

明石の豊かな自然を次世代につないで
いくため、生態系に大きな影響を与える
特定外来生物の防除に取り組んでいます。



ナガイワ
ゲイトウ



クビアカ
ツヤカミキリ



アカミガメ

▶ 生き物が生息する場所を増やす取り組みも

身近に自然や生き物を感じることができるビオトープの整備が進んでいます。

学校で 二見西小学校



地域のひとと協力し、
ビオトープ再生

企業で 川崎重工業 明石工場



2か月後
ビオトープでデンジソウの保護活動に取り組んでいます

「子どもと自然をつなぐ」

▶ 市民環境教育リーダーの育成を進めています

五感を使った自然体
験を通して、子どもの
生きる力を育む環境学
習を支援する人材の育
成を進めています。



ゼロ・カーボンあかし

市は脱炭素社会に向けて、2050年までにCO2排出量と
吸収量が同じになる実質ゼロを目指しています。

環境にやさしい 電気自動車を導入

温室効果ガスの排出量を削減し自然環境を守る
ため、企業版ふるさと納税を活用し市役所で使用
する車の一部に電気自動車を導入しました。



公共施設に太陽光発電設備の導入を進めています

太陽光発電で温室効果ガスの排出
量の削減に取り組んでいます。



錦城中学校



人丸小学校

有機フッ素化合物(PFAS)対策に 関する要望書を国に提出(2月10日)

明石市と神戸市にまたがって流れる明石川で PFAS
が検出されたことから、丸谷市長と久元神戸市長が環
境省に要望書を共同で提出。規制基準の早期の設定、
汚染源の調査や除去技術の導入に必要な費用の支援、
国が健康への影響を分かりやすく情報発信するなど、
国民の不安を払しょくするように要望しました。



◀中田宏環境副大臣(左)に
要望書を提出する丸谷市長(中央)と
久元神戸市長(右)